

1. 研究課題名

後期分娩後異常出血 59 例の検討

2. 試料・情報

(1) 利用目的

後期分娩後異常出血は分娩後 24 時間から 12 週までの間の異常出血のことです。原因として子宮復古不全、胎盤遺残、仮性動脈瘤、子宮内膜炎が代表的ですが、その予測は困難とされます。本研究は、分娩後に異常出血をきたした症例を後方視的に検討することにより、今後の診断や治療の一助とすることを目的としています。研究期間は承認日から 2026 年 3 月までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、2015 年 10 月から 2024 年 12 月の間に当院で分娩し、分娩後 24 時間から 12 週までの間に異常出血をきたし入院加療を要した方の診療記録を利用していきます。利用する情報は、妊娠・分娩経過、検査結果、治療経過、授乳の状況などで、利用は本研究が承認された日から 2026 年 3 月 31 日までです。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 産婦人科 乗濱結夏（研究責任者）

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604

担当：産婦人科 乗濱結夏、木戸道子